

公益施設のデザイン発表会 完成に向けてアイデア募る

2月1日、町中央コミュニティセンターで「(仮称)山田町子ども交流センターデザイン発表会」が開催されました。これは、ことしの12月に完成が予定されている同施設のデザインを子どもたちが地域の住民に発表し、より広く意見を聞くために行われたもので、約70人が参加。模型を使った説明を聞いた参加者からは多くの質問や意見が投げかけられ、デザインを進めてきた山田町子どもまちづくりクラブのメンバーは「皆さんの意見を取り入れ、良いセンターにしたい」と決意を新たにしました。



《(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン提供》



山田の未来について考える 大沢小児童が復興工事見学

2月4日、大沢地区CMJV工事事務所で大沢小学校(佐久間充校長)の5年生11人が、復興工事の現場を見学しました。事務所で工事の概要や交通安全の確保について説明を受けた後、実際に現地へ移動。進捗状況を直接見た児童たちは、来年3月に再建が始まるという宅地に期待を寄せていました。今回の見学会について、古館晴香さんは「実際に見て復興の状況が良く分かった」と話し、白野青空さんは「工事に携わる人たちが地域のことを考えて仕事しているのが分かった」と笑顔を見せました。

山中女子バスケット部が3位入賞 県選抜バスケットボール大会

2月7日から8日にかけて、北上市の北上総合体育館で第38回岩手県中学校バスケットボール選抜大会が行われ、山中女子バスケットボール部が3位入賞を果たしました。

昨年の11月と12月に行われた2度の予選大会を突破し、選抜大会に挑んだ山中女子バスケット部。選抜



山中女子バスケットボール部。下段左から吉田愛音、雪入二千花、富士友梨佳、佐々木杏子、佐々木美海、中村百花(以上、2年)。上段左から岡田涼々、外館あゆみ、阿部美幸、千代川真愛、佐々木奏乃、小林千紗(以上、1年)。《敬称略》

大会では、惜しくも準決勝で金ヶ崎中学校に34—57で敗れました。今回の結果について部長を務める吉田愛音さん(2年)に何うと「先輩たちが果たせなかった入賞という夢を達成できてうれしい」と笑顔で答えてくれました。



シュート練習の様子

今回入賞したメンバーで挑む来年度の中総体。それに向けて日々の練習をシュートに重点を置いてこなしていると話す副キャプテンの中村百花さん(2年)。現在のチームについては良いチームだと感じているといいます。最後に、中総体での目標をキャプテンの富士友梨佳さん(2年)に何うと「選抜大会での入賞はうれしかったがやはり悔しい。中総体では決勝の舞台に立ちたい」と、闘志を燃やしていました。



町のわだい

今月の題字 橋田 隆雅君 (大浦小3年)



子どもたちに福と笑顔を 山田八幡宮で節分祭を開催

2月3日の夜、山田八幡宮において節分祭が開催されました。これは、子どもたちに福と笑顔を届け、一年の健康を祈願するために毎年行われているものです。年々参加者が増え、ことしは境内を埋めつくすほどの賑わい。祭りでは、神事の後に「関口不動尊神楽」と「八幡大神楽」の舞が披露され、舞手が豆やお菓子をまく場面も見られました。その後、佐藤町長らが登場して紅白の餅や豆、お菓子などを豪快に祝いまき。紅白の餅にはさまざまな景品が当たるくじが入っており、「福」をつかもうとする参加者らによって、会場は熱気に包まれました。

山田町応援祭で思い出作り さまざまなショーを楽しむ

山田町商工会青年部による「やまだのこども会・山田町応援祭2015」が2月15日、町中央公民館小ホールで行われました。これは、子どもの思い出作りを目的とし、ことしで2回目の開催です。山田吹奏楽団による「アンパンマンマーチ」で同会が開幕すると、子どもたちは大喜び。その後も、町のストリートダンスチームや、この日のために東京から駆け付けた芸人によるショーも披露され、会場からは歓声が上がりました。その他に、じゃんけん大会やO×クイズ、プロによるバルーンアートのレクチャーも行われ、子どもたちは大いに楽しみました。

